



Title	「関西大学経済論集」第5巻目次
Author(s)	
Citation	関西大学経済論集, 5(8)
Issue Date	1956-01-20
URL	http://hdl.handle.net/10112/15732
Rights	
Type	Others
Textversion	publisher

關 西 大 學

經 濟 論 集

第 五 卷

昭 和 三 十 年

關 西 大 學 經 濟 學 會

「關西大學經濟論集」第五卷目次

第一号 (昭和三十年四月)

(經濟史研究)

矢口孝次郎 初期独占における「収益特權」……………一—六頁

宮下孝吉 三十年戦争の經濟史的意義……………二—四頁

荒井政治 十八世紀におけるイギリス産業資本家の政治的抬頭……………四—九頁

鑄方貞亮 本邦古代碑作考……………六—九頁

津川正幸 近世灌溉水利に関する一、二の史料……………九—三頁

第二号 (昭和三十年五月)

賀屋俊雄 仏領時代に於ける印度支那鉱産事情について……………一三—一六頁

東井正美 合衆国における南北戦争以降の「農業機械革命」の意義……………一七—一九頁

柏尾昌哉 カツオ專業漁業とマグロ專業漁業の生起……………二〇—二三頁

 —日本におけるカツオ・マグロ漁業の發展(Ⅰ)……………二一—二三頁

高堂俊彌 戦後のわが国における経営勞資關係論の潮流(Ⅰ)……………二四—二六頁

第三号 (昭和三十年六月)

松原藤由 國民經濟の体制的變動と經濟政策の質的轉換……………二七—二九頁

市原亮平 日本人口論小史(Ⅱ)……………三〇—三二頁

 —社会有機体説、社会ダーウィニズムの日本イデオロギー化(Ⅰ)……………三三—三五頁

柏尾昌哉 カツオ漁業とマグロ漁業の沖合化

—日本におけるカツオ・マグロ漁業の発展(2)—

三六一—三九九頁

津川正幸 近世における大和北山郷の村落構造と林業(一)

三〇〇—三〇九頁

第四号 (昭和三十年七月)

今西庄次郎 株式利廻と株価収益比率

—株式価格の当否を判断するものとして—

四二—四七頁

越後和典 戦後日本造船業の変遷とその特質

—計画造船政策をめぐって—

四六一—四九六頁

市原亮平 日本人口論小史(Ⅱ)

—社会有機体説、社会ターウィニズムの日本イデオロギー化(2)—

四〇六—四九〇頁

高堂俊彌 戦後のわが国における経営労資関係論の潮流(Ⅱ)

四九—五三頁

第五号 (昭和三十年八月)

山崎紀男 S小売市場の実態分析

—日本人口論小史(Ⅰ)—

五三一—五五六頁

社会有機体説、ターウィニズムの日本イデオロギー化(3)

五〇七—五八〇頁

來住哲二 輸出業者の立場より見たる商業荷為替信用取扱上の問題点(一)

五八一—六〇〇頁

津川正幸 近世における大和北山郷の村落構造と林業(二)

六〇一—六四四頁

第六号 (昭和三十年九月)

杉原四郎 『経済学批判大綱』再論

—エンゲルス歿後六十年によせて—

六四一—六五五頁

森川太郎 モツセ教授のケインズ評

—社会主義的立場からの一批判—

六六一—六七一頁

市原亮平

日本人口論小史(Ⅱ)―(4)

第三人論―「純正」社会主義とその社会ダーウィニズム的屈折

六二―七二頁

柏尾昌哉

遠洋カツオ・マグロ漁業の成立

―日本におけるカツオ・マグロ漁業の発達(三)―

七三―七八頁

第七号

(昭和三十年十一月)

今西庄次郎

公社債価値論

七九―八四頁

末政芳信

限界原価計算の出発点

―ローレンス・ハンフレース共著「限界原価計算論」研究(一)―

八五―九四頁

來住哲二

輸出業者の立場より見たる商業荷為替信用取扱上の問題点(二)

九五―一〇八頁

川元英二

終戦後の我が国生命保険事業について

一一一―一二九頁

第八号

(昭和三十一年一月)

安田信一

経済発展と産業構造

―アメリカ戦後経済事情に関連して―

一三〇―一三七頁

東井正美

一経済学史に現れた重農主義の解釈

―W・スタアク著 澤村榮治訳「経済学史―社会発展との関連における―」

一三八―一四九頁

農業経済学研究
室(東井・津川)

山村経済の構造

―和歌山県東牟婁郡四村の場合―

一五〇―一五六頁

THE KEIZAI RONSHU
THE ECONOMIC REVIEW
OF
KANSAI UNIVERSITY

VOLUME V

1955

THE ECONOMIC SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY
OSAKA, JAPAN